

日本の伝統文化に触れる

新宮市 城南中で事前学習会



立ち回りの練習に取り組む生徒ら
＝16日、新宮市立城南中学校

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）で16日、12月の演劇鑑賞に向けた事前の学習会（ワークショップ）があった。3年生65人が劇団前進座（東京都）の座員ら3人から歌舞伎の基本動作や刀の立ち回りなどを学んだ。

振る舞いなどを紹介した。歌舞伎の大きな特徴である『見得』や『付け』にも触れ「テレビや映画では映像で表現することができる。歌舞伎ではできないため、表情や音などで表している」と語った。

文化庁が「文化芸能による子どもの育成事業」として小中学校で実施している。文化芸術団体の公演を地方でも鑑賞、体験する機会を確保し豊かな感性を育むことを目的にしている。

立ち回りでは座員らが大きな動作で斬り合う様子を実演した後、生徒らは2人一組になって挑戦。「足の位置が逆になった」「よし！できた」などと笑顔で取り組んだ。

同校では12月5日（水）に落語を題材とした江戸時代劇の本公演を予定している。

生徒らは新聞紙を丸め、刀に見立てた物を持参し集合。座員らは着物の着方や正しい正座の仕方、立ち居

西侑来さん（15）は「日本の伝統文化に触れることができて、恥ずかしかったけど楽しかったです。座員の皆さんの演技は迫力があつた」と話していた。